

(18) 振動

- 1) 調査目的

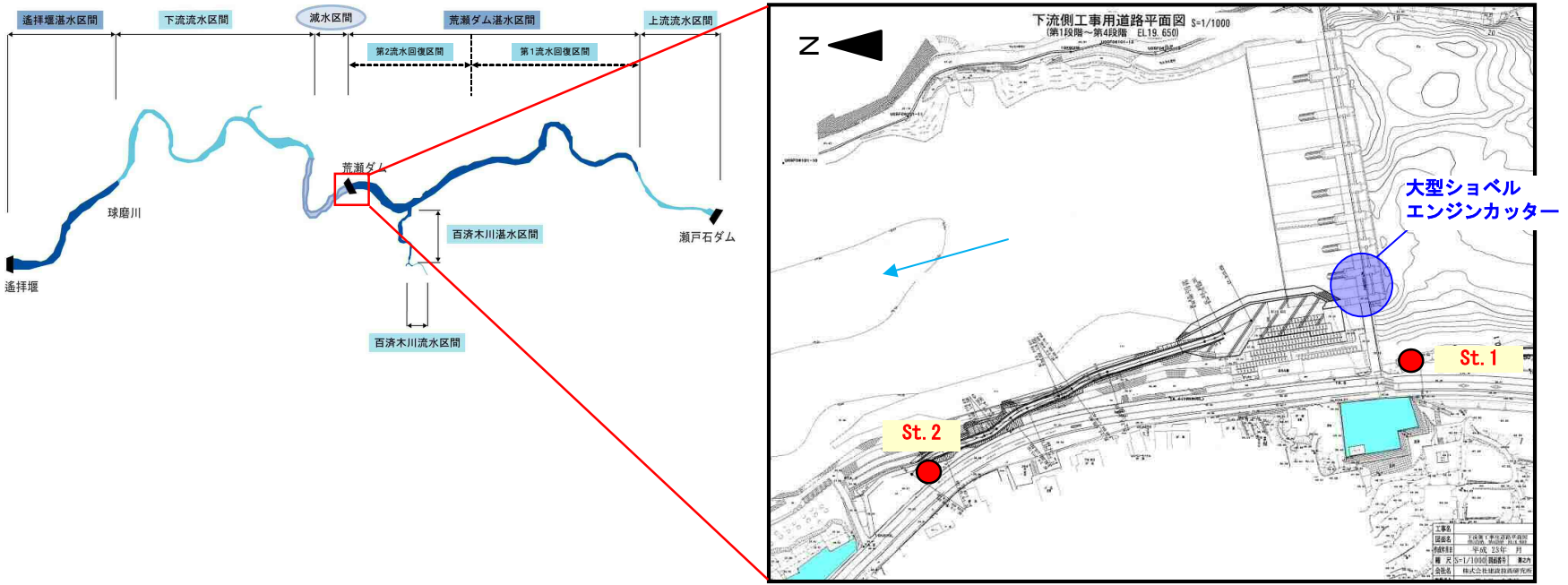
荒瀬ダム撤去工事に伴い発生する振動を測定し、工事施工前との比較及び規制法等との照合を行うことにより、周辺住民等への影響を把握することを目的とする。
- 2) 調査時期・頻度

工事期間の12～3月のうち、特定建設作業時に計2回の調査を実施した。
第1回調査を平成29年12月4日、第2回調査を平成29年12月18日に実施した。
- 3) 調査方法

『振動規制法施行規則』（昭和51年総理府令第58号）及びJIS z 8735に定める振動レベル測定方法に準じた。ピックアップ設置位置は地面上、周波数特性は鉛直振動方向特性、動特性はVLとした。

4) 調査地点

基本的には工事前の調査地点と同じ地点で調査を実施した。すなわち、「St.1 ダム堤体直上流左岸の地上1.2m」及び「St.2 工事用進入路の入口の地上1.2m」で調査を実施した。





現地状況写真（平成29年12月4日）
（大型ショベルによる堤体周辺の整備作業取壊し）



現地状況写真（平成29年12月18日）
（大型ショベルによる堤体周辺の整備作業取壊し）